



日本語学会

The Society for Japanese Linguistics

2026年度
秋季大会

2026年10月24日(土)・25日(日) オンライン

10月24日(土)

口頭発表		A会場 (Zoom1)		B会場 (Zoom2)		C会場 (Zoom3)	
セッション1	司会(補助)	久保蘭 愛 (矢田 勉)		中澤 光平 (岡田 一祐)		永谷 直子 (堤 良一)	
	ホスト	岩田 美穂		櫛引 祐希子		中崎 崇	
	13:00 13:40	A-1	組合せ本『倭訓栞』における 本文異同 小野 春菜 (国立国語研究所)	B-1	日琉祖語における 所有人称標示の痕跡 白鳥 詩織 (京都大学学生)	C-1	日本語では〈何が〉「渋滞する」のか —「国立国会図書館全文テキスト データ」・新聞記事・ Xに見る用法の変遷— 岡田 祥平 (新潟大学)
	13:50 14:30	A-2	計量的手法による 日本漢文の文体分析 —古記録と説話集のMVR・ 名詞率を中心に— 小玉 花菜 (北海道大学学生)	B-2	群馬県中之条町方言の 形容詞のアクセント 高山 林太郎 (宇都宮大学)	C-2	接頭辞「没-」の 意味特性に関する一考察 —「存在性の否定」を中心に— TRAN QUOC HIEP (大阪大学)
休憩 (20分)							
セッション2	司会(補助)	小出 祥子 (久保蘭 愛)		有田 節子 (中澤 光平)		佐伯 暁子 (永谷 直子)	
	ホスト	岩田 美穂		櫛引 祐希子		中崎 崇	
	14:50 15:30	A-3	中世武家家訓における 格言集の引用について 片山 鮎子 (沖縄工業高等専門学校)	B-3	逗子市小坪漁港の漁業者集団語の 言語イメージと漁場名の考察 佐藤 旺斗 (東京海洋大学学生)	C-3	『今昔物語集』の主格標示 —文体的性格に着目した分布の相違— 大金 奈央 (名古屋大学学生)
	15:40 16:20	A-4	室町時代の書状における 依頼の文章構造 —『言継卿記』紙背文書を例に— 山本 久 (京都大学)	B-4	琉球諸語の言語資源のコーパス化 —同源性接続枠組に基づく提案と 実現性検証— セリック ケナン エイデン コールマン トレバー スレビン 横山 晶子 (国立国語研究所)	C-4	「かなり」の機能拡張の通時的検討 山田 恭子 (筑波大学学生)
休憩 (10分)							
大会式典会場 (ovice)							
司会(補助)		高木 千恵 (矢田 勉)					
16:30 16:50		大会式典		会長挨拶 日本語学会会長 木部 暢子 学会賞授賞式			
談話室		10:00-16:20 オンライン談話室 (ovice)					会場担当: 大槻 知世
懇親会		16:50-17:50 オンライン懇親会 (ovice)					司会: 高木 千恵 会場担当: 大槻 知世

10月25日(日)

オープン学生セッション（ovice）					
セッション3	会場担当	林 由華・森 勇太（会場全体） 岡田 一祐・小出 祥子・矢田 勉・山本 佐和子（オープン学生セッション）			
	10:00 11:00	G-1	「Xの次に(形容詞)（名詞）はYだ」類で 「X<Y」となる条件 安食 次暁（國學院大學学生）	G-6	歌舞伎・浄瑠璃の外題の造字法 小川 稜真（就実大学学生）
		G-2	『細雪』における長い文の形成と 連体修飾節を含む名詞句の内部構造 加藤 明矢（立命館大学学生）	G-7	じゃんけん遊びの掛け声におけるリズム規則適用の試み ―三重県桑名市多度町における 組分けじゃんけん掛け声の変化を起点に― 水谷 亮翔（東北大学学生）
		G-3	生成AIのプロンプト設計による言語間性能差への影響 高山 修輔（公立はこだて未来大学学生）	G-8	「AI」の定着過程から見る外来語の役割 ―「人工知能」との比較によって― 山本 梨緒（明治大学学生）
		G-4	日本語形容詞における主観性の構文的実現 ―述語・連体・連用の対照から― 段 建秀（北海道大学学生）	G-9	2拍語における母音無声化の計量的類型研究 ―音構造と品詞の視点から― 星野 稜奈・松井 輝帆・岩崎 彩乃・小澤 光琉子・園 みどり・ 土屋 クララ・土屋キララ・（フェリス学院大学学生） 鈴木 理央・池田 紫緒・滝澤 あかり・吉岡 優作・柿内 優尚・ 見目 匠・河下 陽香・LEE Junsuk・堀 成美・野村 菜々美・ 富岡 由梨・小寺 杏珠・小野島 紅捺（明治大学学生）
		G-5	接続助詞シの用法の変遷―近世に見られる変化― 石井 綾（大阪大学学生）		
フリータイム（15分）					
ポスター発表／オープン学生セッション（ovice）					
セッション4	会場担当	林 由華・小出 祥子（会場全体）、堤 良一（P-1）、山本 佐和子（P-2） 岡田 一祐・佐伯 暁子・森 勇太（オープン学生セッション）			
	11:15 12:15	P-1	依頼発話における配慮方略の使用にみられる性別差の経年変化 ―岡崎敬語調査（1953・1972・2008年）の 方略カテゴリー別分析― 加藤 恵梨（愛知教育大学）	G-13	「自体」の提題性獲得の史的变化 ―近代から現代を中心に― 黄 秋実（名古屋大学学生）
		P-2	文数の傾向から見た中古和文資料 泉 沙希（筑波大学学生）	G-14	日本漢語と広東語との対応関係についての考察 蔣 浩宇（神戸大学学生）
		G-10	岩手県・宮城県における 「気づかない方言」としてのタ形使用の実態 中村 吏玖（東北大学学生）	G-15	カラ節内に存在する「名詞＋ハ」の 主節との関係についての考察 上田 史琉（電気通信大学学生）
		G-11	日本語の「なら」の意味・機能と アラビア語訳における表現選択 Hagar Abdelfattah Youssef Mohamed Youssef （立命館大学学生）	G-16	顔文字と感情形容詞文における 感情理解パターンの計量的研究 朱 雨涵・小畑 晴菜・青木 心優・麻生 波沙・宮田 りほ 山内 杏珠・菅原 凜・本屋 菜々美・若月 朝音・目黒 莉沙・ 中村 凪沙・佐々木 美穂（フェリス学院大学学生）
		G-12	反義関係にある形容詞の比喩的用法 ―「厚い」「濃い」「薄い」を中心に― DOBAL Agustín（大阪大学学生）		
フリータイム（15分）					
休憩（60分）					
シンポジウム会場（Zoom4）					
セッション5	司会	田村 早苗・幸松 英恵			
	ホスト（補助）	森田 耕平			
	13:30 16:30	シンポジウム 独り言（独話）の言語学 森山 卓郎（早稲田大学） 野田 春美（神戸学院大学） 山岡 政紀（創価大学） 山口 治彦（神戸市外国語大学） 企画担当 田村 早苗・幸松 英恵			
談話室		10:00-16:30 オンライン談話室（ovice）		会場担当：大槻 知世	
書籍展示ブース		10:00-13:30 オンライン書籍展示（ovice：オンライン談話室内）			

日本語学会2026年度秋季大会連絡会
大会実行委員 櫛引祐希子 (委員長) , 林由華 (副委員長) , 岩田美穂, 中崎崇 (兼任) , 森田耕平, 松浦年男 (オブザーバー)
大会企画運営委員会 高木千恵 (委員長) , 有田節子 (副委員長) , 矢田勉 (副委員長) , 大槻知世 (委員長補佐) , 岡田一祐, 小川晋史,
久保園愛, 小出祥子, 佐伯暁子, 田村早苗, 堤良一, 中崎崇, 中澤光平, 永谷直子, 森勇太 (委員長補佐) , 山本佐和子, 幸松英恵
事務局委員会 川瀬卓 (事務局長) , 富岡宏太, 麻子軒
広報委員会 市村太郎, 荻野千砂子, 河野光将